

国民健康保険傷病手当金支給申請書（医療機関記入用）

記入例

患者氏名	逗子 一郎		
傷病名	新型コロナウイルス感染症による呼吸器疾患（肺炎）	初診日	令和2年 12月 7日
発病年月日	令和2年 12月 5日		発病の原因 不詳
労務不能と認められた期間	令和2年 12月 5日から		
	令和2年 12月 25日まで		
うち、入院期間	令和2年 12月 7日から		療養費用の種別 <input type="checkbox"/> 国保 <input checked="" type="checkbox"/> 公費（感染症） <input type="checkbox"/> 自費 <input type="checkbox"/> その他
	令和2年 12月 25日まで		転帰 <input checked="" type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 繰越 <input type="checkbox"/> 転医
医療機関 診療日及び入院 していた日を○ で囲んでください。	令和2年12月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	診療 実日数 19 日
	年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	診療 実日数 日
	年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	診療 実日数 日
上記の期間中における「主たる症状及び経過」、「治療内容、検査結果、療養指導」等（詳しく）			
新型コロナウイルス感染症の感染の疑いのため、12/7初診。検査の結果陽性であり、肺炎の症状がみられたため同日から入院。2週間程度で症状の改善がみられ、12/25に実施した検査において陰性となったため退院。		手術年月日	年 月 日
		退院年月日	令和2年 12月 25日
症状経過から見て従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見			
肺炎の症状の改善後も感染拡大防止の観点から、検査が陰性となるまでは入院が必要であったため、入院期間は労務不能と判断した。			
令和3年 1月 23日			
上記のとおり相違ありません。			
医療機関の所在地	△△県◇◇市××町1丁目2番		
医療機関の名称	国保総合病院		
医師の氏名	医師野 四郎	①	電話番号 0234-567-890

この様式は新型コロナウイルス感染症で診察を受けた医療機関で記入してもらってください。診察を受けていない場合は提出不要です。